

一級自動車工学科・自動車整備科			2026年度 授業計画		
時期	2年A巡	単元	学科	教科名	シャシ整備A
科目	自動車整備関連	教科書等 持参品		発行日	2026年4月1日
総時限	12時限			教科 担当	吉田 宗司
総時間	19.2時間				
単位数	1				
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当					
自動車整備士として、シャシ整備の実務経験がある教員によりシャシの構造、作動について指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
<ul style="list-style-type: none"> ①二輪の動力伝達装置を理解する ②インタ・アクスル・ディファレンシャルを理解する ③AT・CVTの点検・整備を理解する ④アクスル及びサスペンションを理解する ⑤ステアリング装置を理解する 					
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）					
<ul style="list-style-type: none"> ①二輪の動力伝達装置の構造・作動が理解できる ②インタ・アクスル・ディファレンシャルの構造・作動が理解できる ③AT/CVTの点検・整備が理解できる ④アクスル及びサスペンションの構造・作動・整備が理解できる ⑤ステアリング装置の構造・作動・機能が理解できる 					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
<ul style="list-style-type: none"> ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢により100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。 					
5. 準備学習					
<ul style="list-style-type: none"> ・三級総合で学習した同一分野の復習を事前に行う ・次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。 					
6. 学修時間と単位					
<p>本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。</p> <p>1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。</p>					

時期	2年A巡	単元	学科	教科名	シャシ整備A	
7. 業概要 (時限ごとの主な授業内容)					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	2輪無段変速機	ベルト式CVTの構造・作動			2級自動車整備士 (総合)	各1
2	駆動装置(2輪)	2輪の駆動装置の構造・作動・機能			授業ノート	人数分
3	差動制限装置 AT・CVT点検整備	差動制限型ディファレンシャル・インタ・アクスル・ディファレンシャル AT・CVTの保守に関わる点検整備			科目別標準問題	各1
					クロームブック	各1
4	AT・CVT点検整備	AT・CVTの保守に関わる点検整備				
5	アクスル及びサスペンション	アクスル、サスペンションの概要 サスペンションの機能、ボディの振動・揺動				
6	エア・スプリング型サスペンション	構成、構造、機能				
7	エア・スプリング型サスペンション	構成、構造、機能 電子制御式エア・サスペンション				
8	二輪サスペンション エアサス点検整備	二輪車のサスペンションの構造 エア・サスペンションの点検				
9	ステアリング装置	概要、構造、機能、旋回性能 パワー・ステアリング				
10	ステアリング装置	電動式パワー・ステアリング パワー・ステアリングの整備				
11	演習1	総合演習				
12	演習2	総合演習				
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						